

第2回 北日本頭頸部癌治療研究会
プログラム抄録集

日時：平成8年10月12日（土曜日）
午後2時より

場所：札幌市医師会館 5階大ホール
札幌市中央区大通西19丁目
TEL 011-611-4181

第2回研究会開催に当たってのご挨拶

第2回北日本頭頸部癌治療研究会は、昨年世話人会の決定にしたがいまして札幌で開催することとなり、大変栄光に存じております。

今年度のテーマといたしましては、昨年の本会におきまして“舌癌”を取り上げることが承認されておりますので、“治療指針と再建”を主にパネル・ディスカッションと特別講演を組ませて頂きました。そこで、パネル・ディスカッションは東北大学の高坂知節教授に司会をお願い致しまして「各施設における舌癌治療の現状—治療指針ならびに治療の実際—についてご討論頂ければと考えております。かつては比較的早期の舌癌はラジウム針やセシウム針による放射線治療が行われる傾向にありましたが、最近では諸般の事情により、治療法にも若干、変化がみられるように思います。一方、進行癌につきましては、やはり根治手術+再建が主流と考えますが、腫瘍の進展によって再建法も大分異なりますので、再建材料の選択などを中心に討論を期待しております。また時間が許せば、T1-T2 N0症例における頸部の取り扱い（予防的郭清、予防照射など）についても討論頂ければと考えております。

特別講演は癌研究会附属病院頭頸科部長の鎌田信悦先生に「癌研における舌癌治療法の変遷—ラジウムから再建外科へ—」という題でお話しして頂きます。鎌田信悦先生はskillful surgeonとして有名ですが、かつては放射線科医を兼ねておられましたので、パネル・ディスカッションでも手術、放射線治療の両面において有益なご発言を頂けるものと期待しております。

最後に、私から一つお願いがございます。それは、この会はいわゆる学会とは違いますのでパネリストの方々にはどうか気楽に参加して頂き、本音を述べて頂きたいと思っております。皆様のご来札を楽しみにしております。

第2回北日本頭頸部癌治療研究会
会長 犬山 征夫

プログラム

Panel Discussion

(14:00~16:30)

司会 高坂 知節教授 (東北大学)

テーマ 「各施設における舌癌治療の現状」
-治療指針ならびに治療の実際-

- 1) 旭川医科大学 高橋 光明先生
「舌・咽頭癌における重複癌の問題」
- 2) 札幌医科大学 朝倉 光司先生
「早期舌癌の治療方法に関するアンケート調査結果の報告」
- 3) 国立札幌病院 西尾 正道先生
「舌癌治療の現状 —組織内照射を中心として—」
- 4) 北海道大学 八木 克憲先生
「舌癌の治療方法の検討」
- 5) 弘前大学 池野 敬一先生
「当科における舌癌手術症例の検討」
- 6) 秋田大学 横溝 道範先生
「Ⅲ・Ⅳ期舌癌根治治療症例の成績と予後」
- 7) 岩手医科大学 千葉 秀樹先生
「当科における舌癌の治療状況について」
- 8) 東北大学 松浦 一登先生
「当科における舌癌症例の検討」
- 9) 宮城県立がんセンター 西條 茂 先生
「当科における舌癌治療について」
- 10) 山形大学 稲村 博雄先生
「当科における舌癌治療の現状」
- 11) 福島県立医科大学 鹿野 真人先生
「舌癌進行例の原発巣再発の検討」

特別講演

(16:45~17:45)

司会 犬山 征夫教授 (北海道大学)

「癌研における舌癌治療法の変遷

ーラジウムから再建外科へー」

癌研究会附属病院頭頸科

部長 鎌田信悦先生